

連載第29回 横浜市議員 たけのうち猛 市民とともに



横浜市議員

たけののうち猛

＜ご相談・ご連絡先＞

公明党金沢支部事務所：金沢区富岡西 3-38-1-101

TEL：080-9804-9782

FAX：045-345-4345

✉ info@takenouchi-takeshi.com

http://www.takenouchi-takeshi.com/

早期発見・早期支援の充実へ
発達障がいを考える

近年、発達障がいと診断されることが急増し、横浜市でも行政や教育現場へ一層の対応を求める声が多く寄せられています。Q. 切実な課題です。A. 私も発達障がい疑いのあるお子様を持つ母親の方などからご相談を頂いており、公明党議員団としても大きな課題と認識し、研究者を招いての勉強会や他都市の先進的な取り組みの視察などを精力的に行っています。

Q. 発達障がいとは？ A. 広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などを総称したものでコミュニケーションにおける障害とも言われます。「病気の障害」というよりはその子の「個性・特徴」

という方が正しく、関わる大人や周囲の理解と適切な配慮があれば、何の問題もなく社会生活を送れます。また支援(療育)を早期に行えば行うほど予後の改善が期待できます。

Q. 早期発見・早期支援が大事。 A. これまでも早期支援を担う地域療育センターの充実を求めています。利用する児童の急増に加え、保健士による診断には一定の時間がかかることもあり、診療まで相当な待ち時間が発生しています。そこで提案しているのが、社会性発達

計測を併せて装置による子どもの持つ特性として掌握し親への助言を行うなど、早期支援につなげていきます。

Q. 積極的な活用を期待します。 A. 乳幼児期の早期発見と同様に大事なのが、学齢期での切れ目ない支援です。保護者はもちろん、教職員が発達障がい正しく理解し適切に支援できるように、啓発や研修の充実を図る必要があると考えます。

※社会性発達評価装置：大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究所と株式会社JVCケンウッドが共同で開発した視線計測器。約2分間の映像を眺めてもらうだけで、幼児の社会性を客観的な数値として測定できる。

評価装置※の活用です。視察に行った西宮市などでは、乳幼児健